

# 1 総合診療科：総合診療科フェロー研修要綱

総合診療科フェロー指導責任者 鈴木基正

日本小児感染症学会認定指導医（専門医）プログラム指導責任者 伊藤健太

## 1. 対象

小児科後期臨床研修修了者、もしくは小児科後期臨床研修修了見込み者を対象とします。  
（小児専攻医（小児科後期臨床研修）を希望される方は、当院ホームページの小児科専攻医募集のページをご覧ください）

## 2. 研修目標

- ・エビデンスに基づいた小児科診療を実践できる。
- ・一般的な小児疾患に対して、深く考えて診療できる。
- ・小児専門診療科の疾患を学ぶ。
- ・bio-psycho-social modelに基づいた小児科診療を実践できる
- ・子どものアドボカシーを実践でき、教育できる

## 3. 研修期間

原則2年ですが、希望に応じます

※日本小児感染症学会認定指導医（専門医）プログラムとの併用希望の方は原則3年となります。

## 4. 当センターの研修の特徴

- ・当院は、総合診療科や救急科としての小児の基本的診療の研修と、他施設では経験が不足しがちな重症小児患者や希少疾患の診療の研修が、同時に可能です。
- ・また、日本小児感染症学会認定指導医（専門医）プログラム実施施設ですので、希望者は総合診療科フェローシップを行いながら受験資格を得ることが可能です。
- ・院内に併設されている保健センターと共同し、児童虐待（ネグレクト、身体的虐待、心理的虐待、性被害、不適切療育）への対応を学び実践することが可能です。
- ・子どものアドボカシーについて何かを学び、活動することが可能です。

## 5. 研修内容

総合診療科、および小児科後期臨床研修で研修不足と感じた専門診療科を中心に、御希望される診療科をローテートします。また希望により、外科系診療科での研修も可能です。専門科医師によるレクチャーを定期的に行います。

日本小児感染症学会認定指導医（専門医）プログラムに参加すると、院内の感染症診療コンサルテーションや感染管理チームに参加し、小児における感染症対策について学べます。また予防接種については地域の指導的立場としてより深く勉強することができます。

#### 6. 研修可能人数

人数制限はありません。

#### 7. その他

- ・ 収入の確保等で必要があれば、代務・アルバイトが可能です。
- ・ 研修期間中に、特定の大学医局への入局手続きは必要ありません。